

令和2年9月15日  
第106回運営委員会  
資料2(一部修正)

# 令和3年度保険料率に関する論点について

(改訂版)

## 1. 平均保険料率

### 《現状・課題》

- ✓ 協会けんぽの令和元年度決算は、収入が10兆8,697億円、支出が10兆3,298億円、収支差は5,399億円と、収支差は前年度に比べて▲550億円となったものの、準備金残高は3兆3,920億円で給付費等の4.3か月分（法定額は給付費等の1か月分）となった。
- ✓ これは、協会において、ジェネリック医薬品の使用促進、レセプト点検の強化など医療費適正化のための取組を着実に進めてきたことや、中長期的に安定した財政運営を行う観点から、平均保険料率10%を維持してきたことなどによるものである。
- ✓ 一方、協会けんぽの財政は、医療費の伸びが賃金の伸びを上回るという財政の赤字構造が解消されていないことに加え、以下の観点などから、今後も予断を許さない状況にある。
  - ・高齢化の進展により、高齢者に係る医療費が今後も増大する見込みであり、特に、令和4年度以降、後期高齢者が急増するため、後期高齢者支援金の大幅な増加が見込まれること。
  - ・平成29年度半ば頃から被保険者数の伸びが急激に鈍化しており、賃金の動向も不透明であること。（詳細はP.3参照）
  - ・高額な医薬品や再生医療等製品の薬価収載が増加していくと見込まれること。
- ✓ 加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済情勢の悪化により、令和2年4月～9月にかけて被保険者数の伸びが急激に鈍化するとともに、令和2年8月28日時点で約1050.3億円の保険料の納付猶予が発生するなど、保険料収入の減少等が見込まれる状況にある。
- ✓ また、医療機関への受診抑制により、加入者一人当たり医療給付費（稼働日数調整後）が対前年同月比で、令和2年4月から7月までマイナスとなっていたのが、8月は+0.3%となっている。（詳細はP.5参照）
- ✓ こうした状況も踏まえながら、今後の財政状況を見通す観点から、新型コロナウイルス感染症の影響も含めた、5年収支見通し等の財政状況に関するシミュレーションを行ったところ、平均保険料率10%を維持した場合であっても、数年後には準備金を取り崩さなければならぬ見通しとなっている。

## 1. 平均保険料率

### 【論点】

- 協会の財政構造に大きな変化がない中で、今後の5年収支見通しのほか、人口構成の変化や医療費の動向、後期高齢者支援金の増加などを考慮した中長期的な視点を踏まえつつ、令和3年度及びそれ以降の保険料率のあるべき水準について、どのように考えるか。

※ 平成29年12月19日 運営委員会 安藤理事長発言要旨：「今後の保険料率の議論のあり方については、中長期で考えるという立ち位置を明確にしたい。」

## 2. 保険料率の変更時期

### ≪現状・課題≫

- ✓ これまでの保険料率の改定においては、都道府県単位保険料率へ移行した際（21年9月）及び政府予算案の閣議決定が越年した場合を除き、4月納付分（3月分）から変更している。

### 【論点】

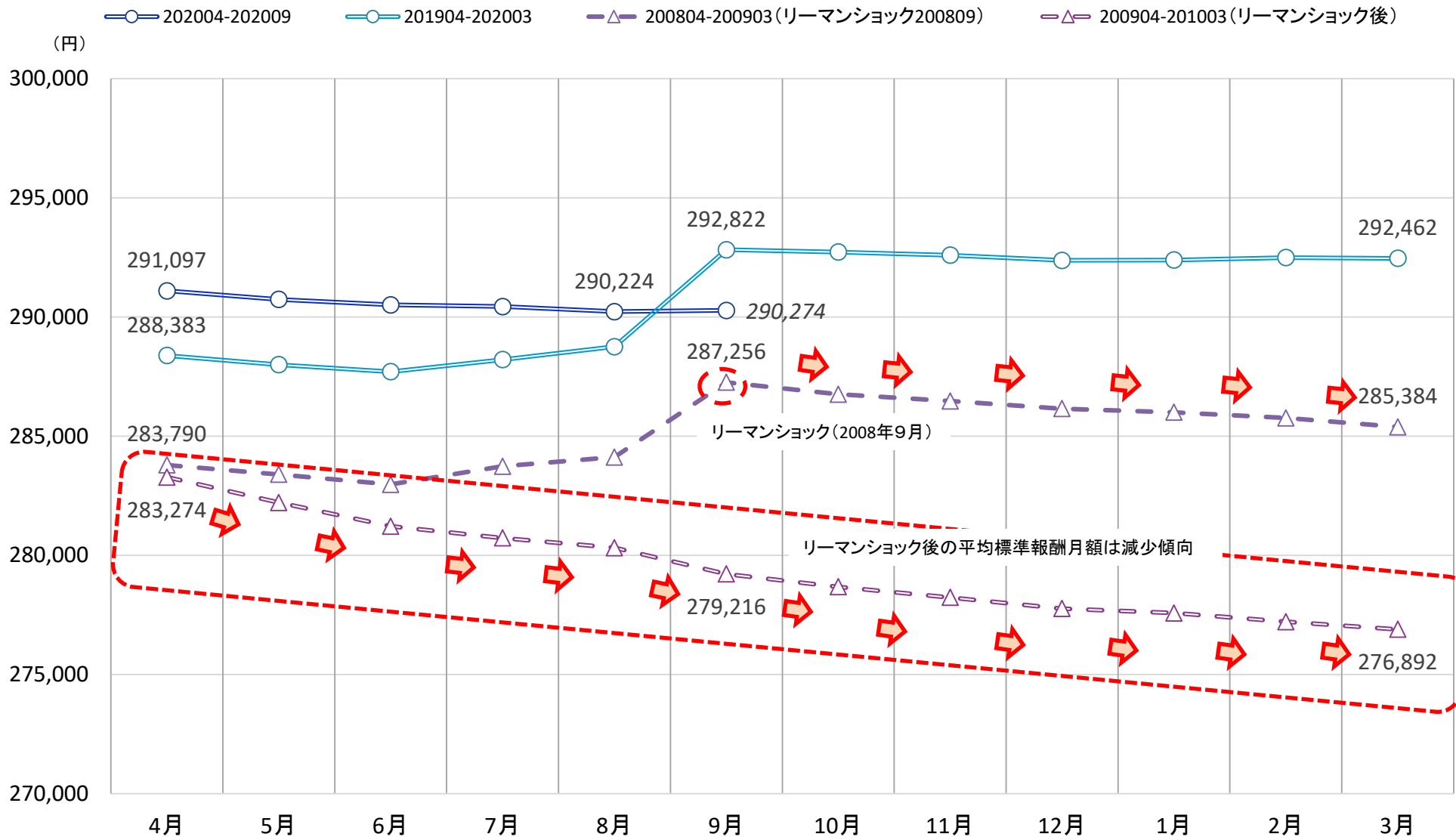
- 令和3年度保険料率の変更時期について、令和3年4月納付分（3月分）からでよいか。



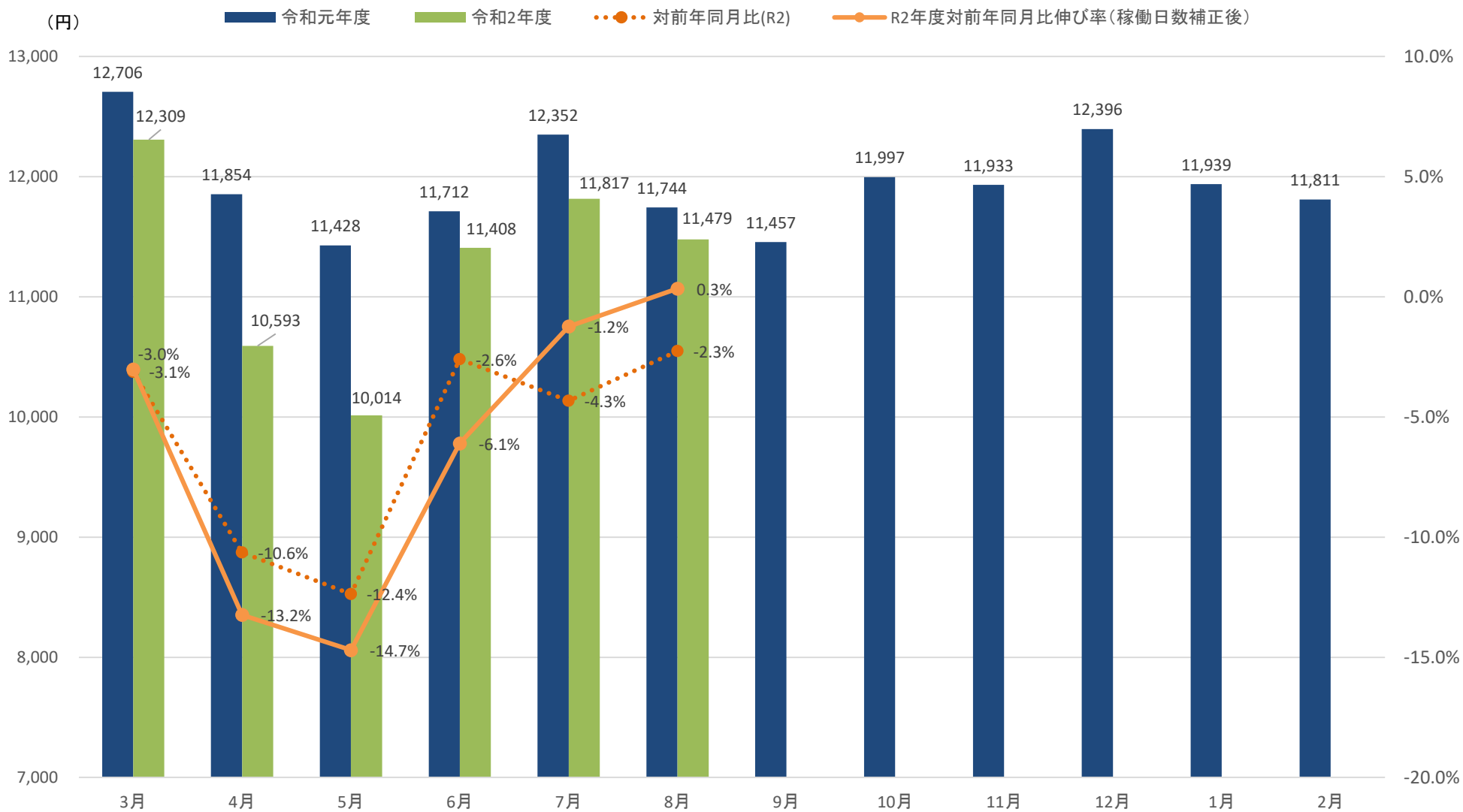
# 平均標準報酬月額推移

9月数値は速報値

○ 前年度3月の定年退職等や毎年度4月の新規採用に伴い、4月に平均標準報酬月額は一時的に減少し、その後4月から6月の給与総額を算定の基礎として9月に標準報酬の改定が行われ増加するのが一般的であるが、今年度は8月に比べ僅かに増加したものの、対前年同月比の伸びはマイナスに転じた。



# 加入者一人当たり医療給付費と対前年同月伸び率の推移(全国)

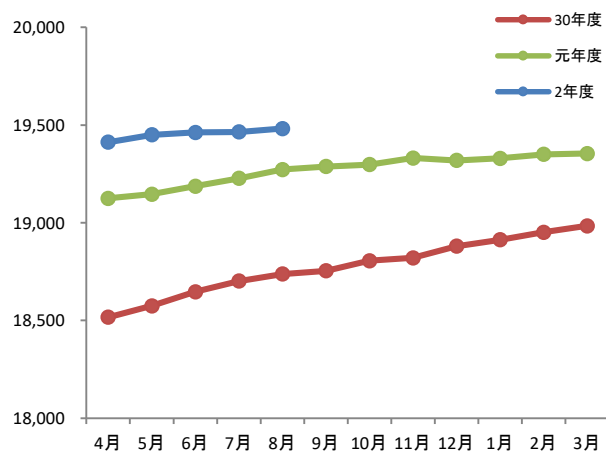


# 適用関係の推移(青森支部)

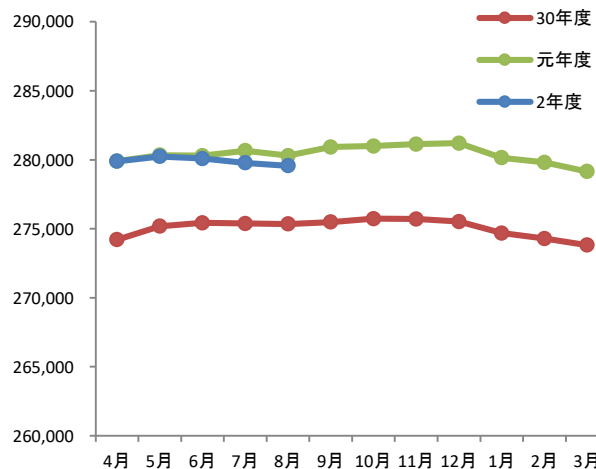
- ・事業所数は対前年度と比較して増加傾向で推移していますが、被保険者数と被扶養者数は減少傾向で推移しています。
- ・平均標準報酬月額是对前年度と比較して増加傾向で推移しています。

	事業所数(件)		加入者数(人)						平均標準報酬月額(円)	
		対前年度		対前年度	被保険者数(人)		被扶養者数(人)			対前年度
						対前年度		対前年度		
平成29年度平均	18,167	5.0	444,625	0.9	271,439	2.5	173,185	-1.4	236,327	0.9
平成30年度平均	18,774	3.3	445,461	0.2	275,066	1.3	170,395	-1.6	239,733	1.4
令和元年度平均	19,269	2.6	448,632	0.7	280,404	1.9	168,227	-1.3	242,999	1.4
令和2年度平均	19,454	1.0	443,986	-1.0	279,911	-0.2	164,075	-2.5	243,600	0.2
令和2年4月	19,412	1.5	445,038	-1.0	279,889	-0.01	165,149	-2.5	243,684	1.2
令和2年5月	19,450	1.6	444,140	-1.0	280,240	-0.03	163,900	-2.6	243,459	1.1
令和2年6月	19,462	1.4	443,823	-1.0	280,085	-0.1	163,738	-2.5	243,311	1.2
令和2年7月	19,465	1.2	443,522	-1.2	279,777	-0.3	163,745	-2.7	243,651	1.1
令和2年8月	19,482	1.1	443,409	-1.1	279,564	-0.3	163,845	-2.6	243,897	1.0

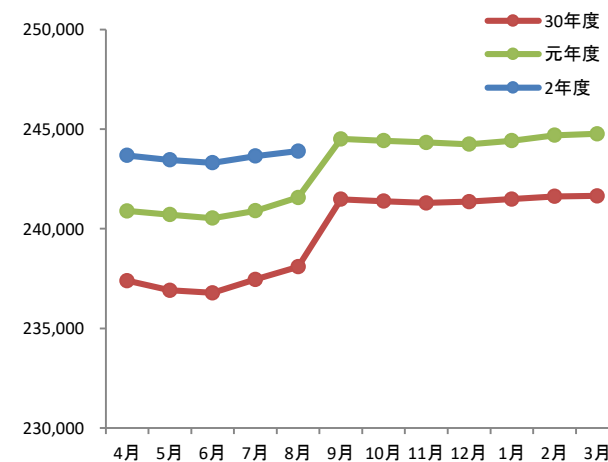
事業所数(件)



被保険者数(人)



平均標準報酬月額(円)



# 加入者一人当たり医療給付費と対前年同月伸び率の推移(青森支部)

